

奈良市みどりの基本計画

計画改訂の基本事項

《わたしたちが描く「みどりのある暮らし」》

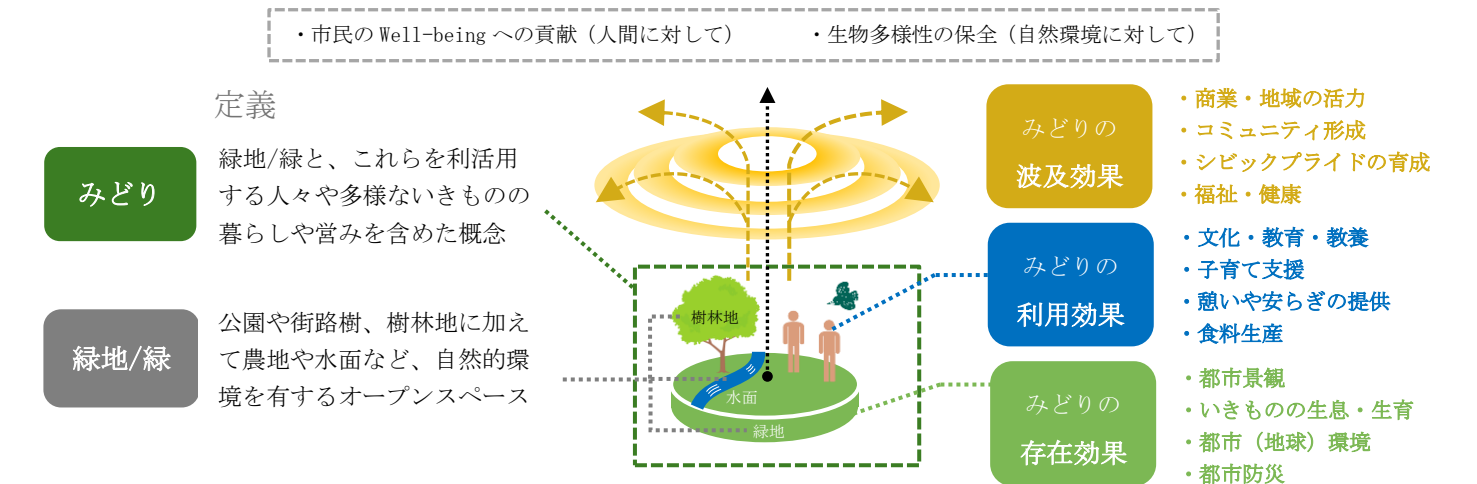
みどりの基本計画は、奈良市のみどりの将来像を描き、守り育てたいみどりを愛でること未来につなぐとともに、今あるみどりをもっと楽しむ人たちを増やすことを目指す「みどりのまちづくり」に関する総合的な計画です。

本計画を通じ、みどりが持つ価値を共有し、市民一人ひとりがみどりに興味を持つことで、自らみどりに関わるきっかけになるように適切なコミュニケーションを図っていきます。

《「みどり」の定義と効果》

みどりの効果は、存在効果（みどりが存在することで発揮）、利用効果（みどりを利用することで発揮）、波及効果（みどりの活用を通じて周辺に波及）に分けられます。

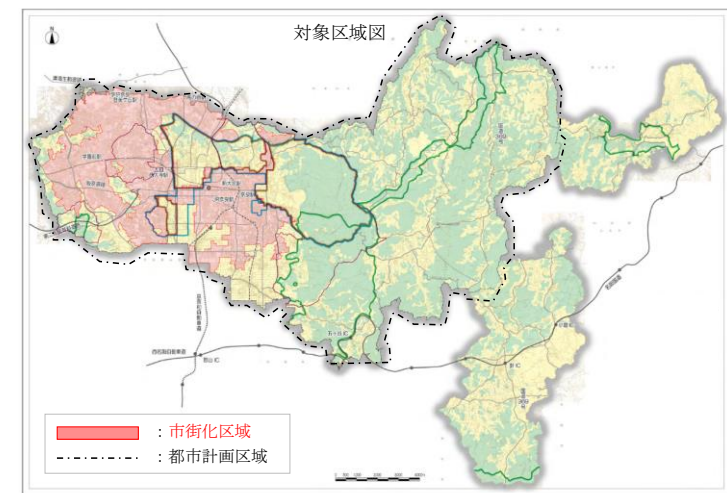
本計画においては、人と自然の共生の持続的な実現に向け、相互作用を持って高め合う 2 つのみどりの効果である「生物多様性の保全」と「市民の Well-being への貢献」を重視して推進します。



《計画のフレーム》

対象区域：本市全域 27,694ha

目標年度：2035 年度(令和 17 年度) 中間年度 2030 年度（令和 12 年度）



《みどりの現況と課題》

わたしたちが描く「みどりのある暮らし」の実現に向け、市のみどりに関する課題を 4 つの視点から整理します。

視点① 触れる

日常でみどりに触れる機会の創出

気軽にみどりに触れる機会を増やすことで、安らぎ、憩いなどの効用を日常的に享受できる環境づくりが求められています。

視点② 活かす

みどりを活かしたまちの魅力づくり

みどりの多様な効果が発揮されるよう、適切なみどりのマネジメントの推進によるまちの魅力向上が求められます。

視点③ 育む

みんなでみどりを育む意識の醸成

みどりの情報をわかりやすく届け、その魅力を知り、誇りと思ってもらうことで、みどりを育む意識の醸成が求められます。

視点④ つなぐ

みどりの保全・継承

奈良のイメージをけん引するみどりについて、積極的に活用する視点を加味しながら保全するとともに、後世に継承していくことが求められます。

みどりの将来像と方針、目標

《奈良市のみどりの基本理念》

みどりの基本理念

みどりと暮らす、日常にみどりをを感じる
わたしたちのまち、なら

～みどりに触れ みどりを活かし みどりを育み みどりをつなぐ～



■奈良市が目指すみどりのある暮らしの将来イメージ

《目標達成のための指標》

指標	現況値 (2024 年)	目標値 (2035 年)
①緑地の量	1. 都市緑地として確保すべき緑地の目標水準	【①市が管理する都市公園】 6.1 ㎡/人 【②国営、県営公園を含む】 22.4 ㎡/人
	2. 緑視率 (JR 奈良駅周辺、近鉄高の原駅周辺、近鉄西大寺駅)	各地点の 現況値 +5.0%～ +10.0%
②緑地とのふれあい	1. 普段の暮らしにみどりを感している市民の割合	82%
	2. みどりのある空間で会話を楽しんだ市民の割合	65%
③みどりを育む活動	1. みどりを育む活動を行う市民の割合	65%
	2. みどりに関する活動団体の継続率	87.4%
④みどりの成果	1. 市のみどりに満足している市民の割合	【市全体】 4% 【地域】 72%
	2. 大切にしたいみどりがある割合	80% 85%

《基本方針》

基本方針 1

「奈良らしさ」を感じるみどりを
まもり、次世代へつなぐ

基本方針 2

まちの魅力・活力を高める
みどりを豊かにする

基本方針 3

みどりのある暮らしを支える
ネイバーフッドを築く

基本方針 4

みどりの価値を共有し、みんなで
みどりを育む

みどりのまちづくりを推進する施策

《基本施策》

柱1 奈良の骨格を形成するみどりを保全する

- ①里山の保全の推進
- ②山林の適正な管理
- ③緑地の保全に関わる制度などの運用

柱2 奈良の歴史文化を伝えるみどりを保全する

- ④古墳や遺跡などのみどりの保全・活用
- ⑤保存樹木などの保全

柱3 いきものの生息・生育の場となるみどりをまもる

- ⑥自然環境の実態把握
- ⑦多様ないきものの生息・生育環境の保全



自伐型林業体験研修
(奈良市)



みどりに囲まれた
社寺の境内地
(奈良市 不退寺)

《重点施策》

重点1 人と自然が寄り添う 里山からのまちづくり

- 取組1 里山の利活用の推進
取組2 里山整備の支援
取組3 里山保全に関する
人材・団体の育成



里山体験コンテンツの提供
(奈良市 さとやま体験)

重点2 「日常に公園のある暮らし」の実践

- 取組1 公園の一層柔軟な使いこなし
取組2 都市経営の視点を
踏まえた公園
マネジメントの推進
取組3 地域ニーズに応じた
公園整備・再編の推進



公園の自由な使いこなし
(奈良市 トライアル・サウンディング)

重点3 居心地が良い ウォカブルなまちなかの形成

- 取組1 駅を核としたウォカブルな
まちづくりの推進
取組2 みどりのネット
ワークの形成



ほこみちを活用した商店街の取組み
(奈良市 春日表参道
「SUN DAYS PARK」)

重点4 質を高める戦略的な みどりのマネジメントの推進

- 取組1 みどりの適正な維持管理の推進
取組2 まちの魅力となるみどりづくり
取組3 みどりを育む
人材の育成



人材を育成する
ワークショップの開催
(奈良市 PUBLIC LIFE LABO)

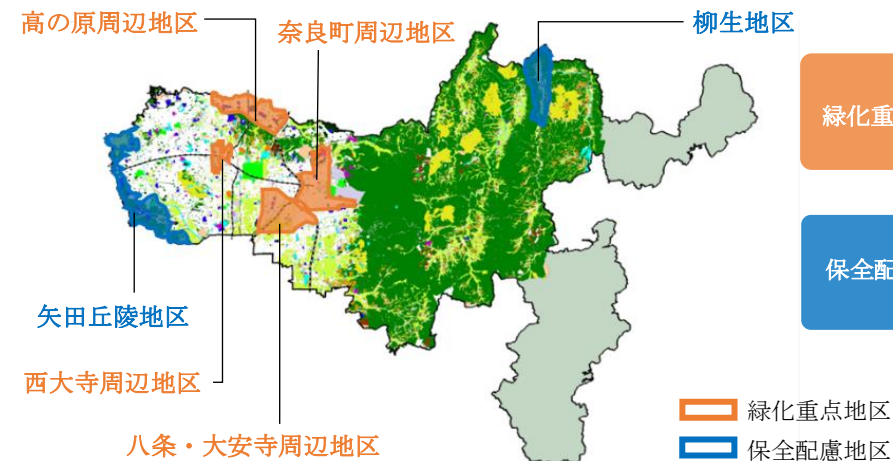
重点5 みどりへの関心や意識を高める 適切なコミュニケーション

- 取組1 市主体による
情報発信の強化
取組2 県や国と連携した
情報発信の推進
取組3 民間企業や大学と
連携したみどりの
研究、情報発信



みどりの取組に関するパンフレット
(奈良市 日常に公園のある暮らし)

《緑化重点地区及び保全配慮地区》



緑化重点地区

保全配慮地区

「緑化の推進を重点的に図るべき地区」

本市における設定要件

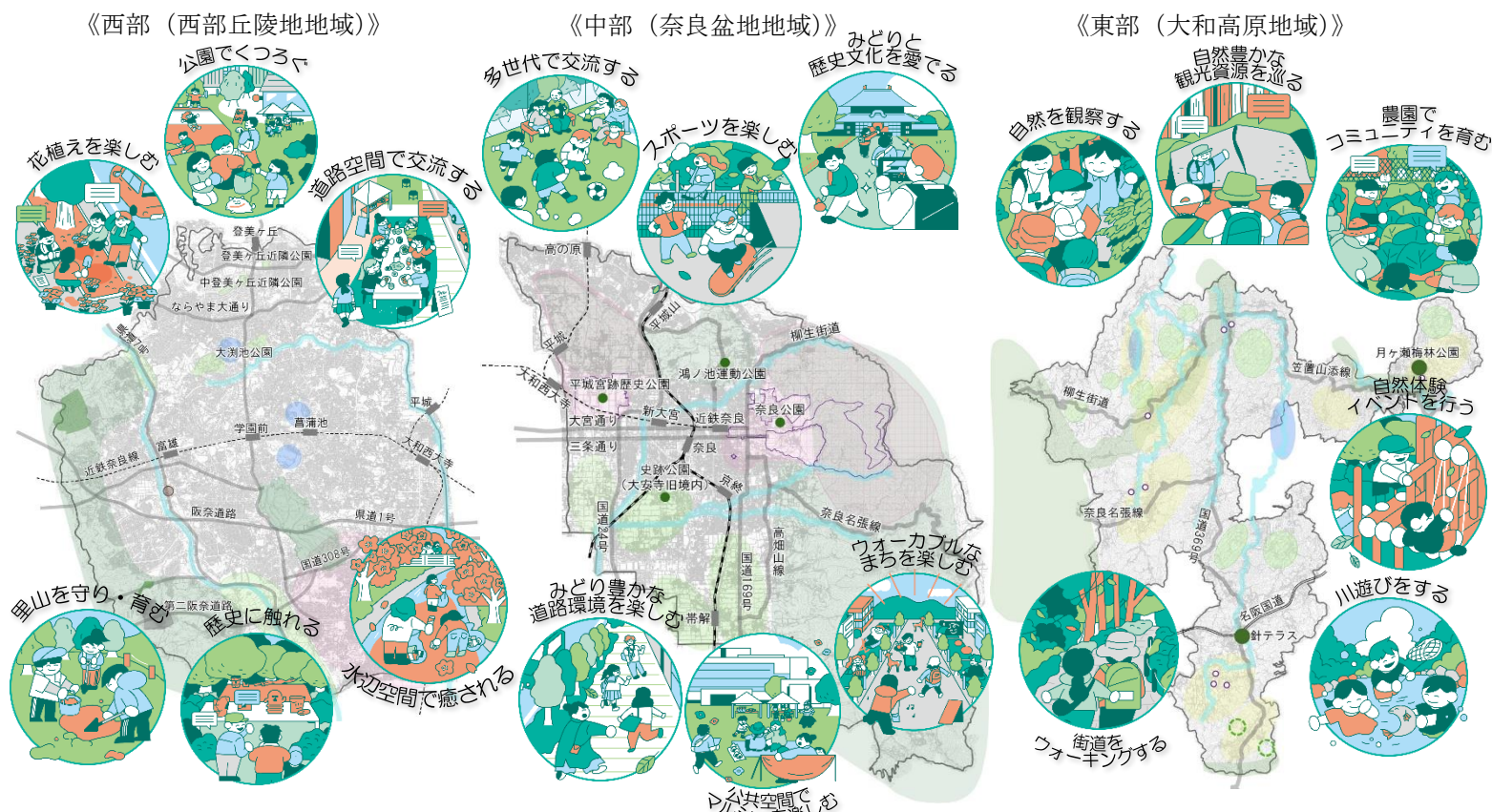
条例等による保全措置等、緑地の保全を図るべき
必要があると認められる地区

「重点的に緑地の保全に配慮を加えるべき地区」

本市における設定要件

- ①比較のみどりが少なく、重点的に緑化を推進する必要のある地区
- ②みどりによる環境整備に対して市民の意識が高い地区

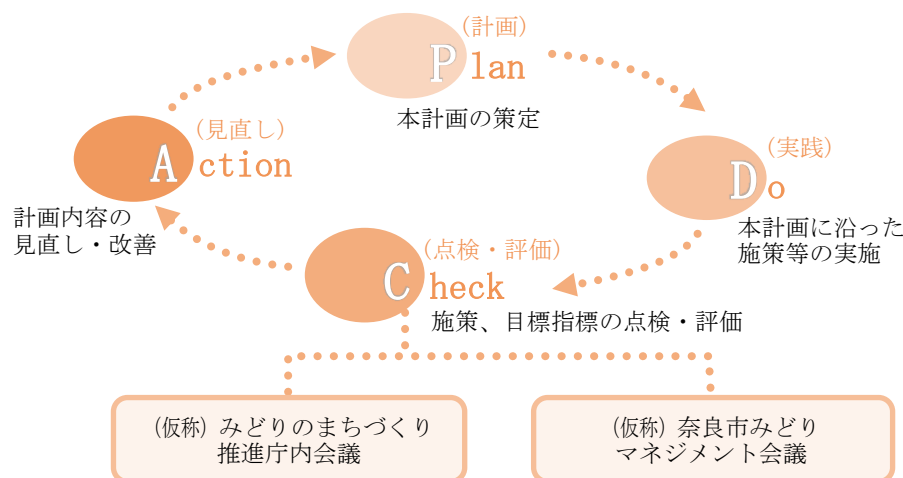
将来のみどりの楽しみ方



計画推進に向けて

みどりの基本理念の実現に向け、行政だけでなく、市民やみどりに関する活動団体、民間事業者との連携・協働で取り組みます。

本計画を着実に推進するため、基本施策や重点施策の実践、進捗状況の点検・評価、計画の改善や見直しを繰り返す「PDCA サイクル」に基づき、適正な進捗管理を行います。施策や指標の点検・評価は、庁内会議のほか、有識者や市民を含む委員会により実施します。



(仮称) みどりのまちづくり
推進庁内会議

(仮称) 奈良市みどり
マネジメント会議